

書評

竹田洋志著『海外安全ハンドブック』（今井出版）

Book Review:

H. Takeda “Overseas Safety Handbook”

東京工業大学留学生センター／総合理工学研究科環境理工学創造専攻・准教授

佐藤 由利子

SATO Yuriko (Associate Professor, Tokyo Institute of Technology)

キーワード：派遣留学、海外安全マネジメント

「グローバル人材の育成」が日本の喫緊の課題となり、多くの教育機関が、学生の海外派遣に取り組む中、送り出す教職員、また、送り出される学生にとって、最も気にかかる事項の1つが、海外における安全対策ではないだろうか？どのように学生に対して派遣前に、起こりうるトラブルを知らせ、それを回避する準備をさせ、万が一トラブルにあった時の対応策を伝えれば良いのか、そのような「海外安全マネジメント」教育手法は未だ確立されておらず、派遣学生からのフィードバック等に基づき、改善方法を模索している教育機関が多いのではないだろうか。

本書は、鳥取大学国際交流センター副センター長として長期・短期の派遣留学プログラムを担当する著者が、学生に対する「海外安全マネジメント」の講義で解説した内容をもとに構成されている。「リスク管理と危機管理」の章では、リスク識別、リスク評価、リスク対応、ヒヤリ・ハットなど、基本的な概念とリスク予測の大切さを述べ、「パスポート、ビザ」の章では、パスポート盗難への備え、紛失時の発行手続き、ビザ申請、入国書類の書き方が、関連のウェブサイトとともに平易に説明されている。「安全情報の収集」のページでは、外務省海外安全ホームページを始め、海外の安全情報が掲載されたウェブサイトのリストと、学生に対する安全情報検索の演習問題、重要な英単語リストが掲載されている。「医療、公衆衛生」の章では、渡航先で罹患可能性のある病気や必要な予防接種を調べる方法、水・食事や蚊などへの注意、もしもの時の医療用語のウェブサイトと演習問題が掲載されている。「海外でのトラブルを未然に防ぐには」の章では、盗難、強盗、交通事故、怪我、日焼け、薬物がらみの事件に巻き込まれるリスクと予防策について、演習問題とともに詳しく解説され

ている。

本書は A5 版 79 頁と持ち運びに便利なサイズで、2 色刷りで重要な事項がひと目でわかるよう、編集も工夫されている。学生の送り出し先が、欧米諸国から、アジア・アフリカ・中南米などの開発途上国に拡大する中、学生自身が海外安全マネジメントを身につけるための好著と言えよう。

(A5 版 79 頁、今井出版、700 円＋税、2014 年 10 月)